

紛争鉱物調達方針

EICC(Electronic Industry Citizenship Coalition)によると、一部の鉱物がアフリカのコンゴ民主共和国の武装勢力の資金源となっています。これらの資金が武器の購入、反政府活動の流血抗争、地元の住民への人権侵害に使われています。これにより国際的な紛争が起きています。

界霖科技股份有限公司(JLT)グループは、地球市民として、紛争地域由来の金属の使用を受け入れないことを宣言いたします。同時にJLTグループはサプライヤーに対し、当該紛争鉱物調達方針を遵守するよう要求します。

SHプレジジョンにおける紛争鉱物調達方針

SHプレジジョンは、JLTグループの調達方針に基づき、直接的、あるいは間接的にも武装勢力団体を援助することにならないように、紛争鉱物に対し、以下の調達方針を掲げるものです。

- (1) 企業としての社会的責任(CSR)を履行します。
- (2) コンゴ民主共和国及びその隣接国と地域で産出される“紛争鉱物”を製品に使用しないことを確保します。
- (3) 製品に含まれる金(Au)、タンタル(Ta)、スズ(Sn)とタングステン(W)をはじめとした問題ある指定鉱物の原産国まで遡及し、すべてのサプライヤーに調査表の記入を要求するとともに、OECD(経済協力開発機構)のガイダンスに従い調査を行います。
- (4) これらの要求を更に上流のサプライヤーに伝達し、透明性の高いサプライチェーンを構築します。

以上